

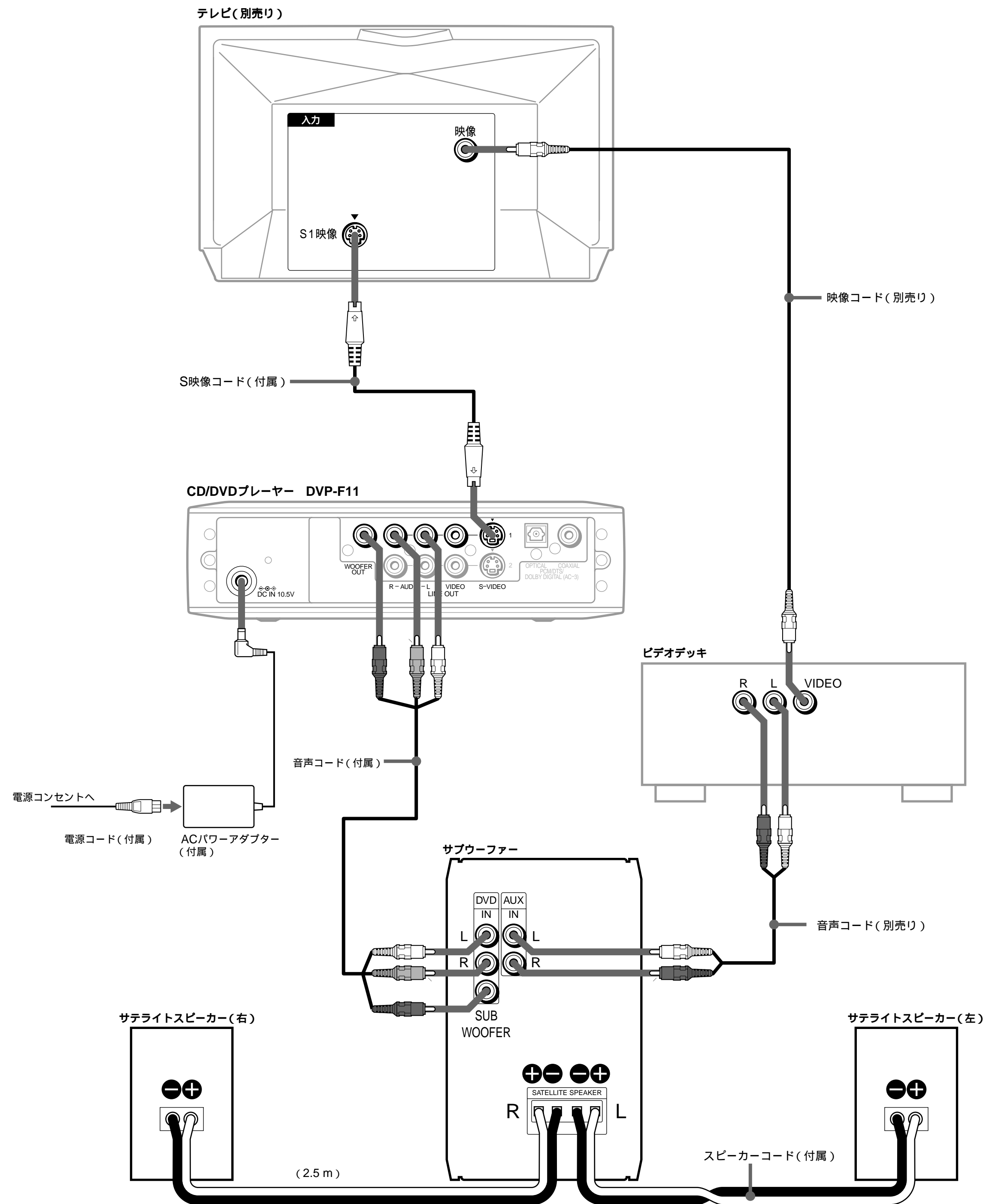
# DVPK-11

**接続図**

接続する前に、必ず各機器の電源を切り、電源コードを抜いてください。

詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

## スピーカーシステムDVPK-11



# DVDシステムをお楽しみいただくために

この取扱説明書では、DVPK-11を使ってDVDを再生するために最低限必要な準備や接続、操作について説明しています。CD/DVDプレーヤーの操作などについて詳しくは、付属の取扱説明書をご覧ください。

## 準備

### 付属品を確認する

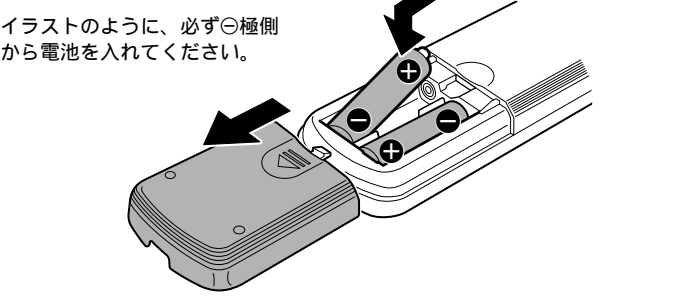
- 次の付属品がそろっているかを確認してください。スピーカーシステムの箱に入っている付属品もあります。
- 音声コード\* (プラグの色：赤・白・黒) (1)
  - スピーカーコード\* (2.5 m) (2)
  - フットパッド\* (12)
  - 安全のために\* (1)
  - スタンド (1)
  - スタンド取付用ネジ (1)
  - 音声 / 映像コード (プラグの色：赤・白・黄) (1)
  - S映像コード (1)
  - リモコンRMT-D109J (1)
  - 単3乾電池 (R6) (2)
  - ACアダプター (1)
  - 電源コード (1)
  - ソニーサービス窓口・ご相談窓口のご案内 (1)
  - 保証書 (1)
  - \* スピーカーシステムの箱に入っています。

もし付属品が足りないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

ご注意  
上記の「ソニーサービス窓口・ご相談窓口のご案内」および「保証書」は、個別で各製品に付属しておりません。CD/DVDプレーヤー、スピーカーシステムのいずれにも上記のものをお使いいただけません。

#### リモコンに電池を入れる

DVDプレーヤーのリモコンに、単3形乾電池 (R6) (付属) を入れます。⊕と⊖の向きを正しく入れてください。



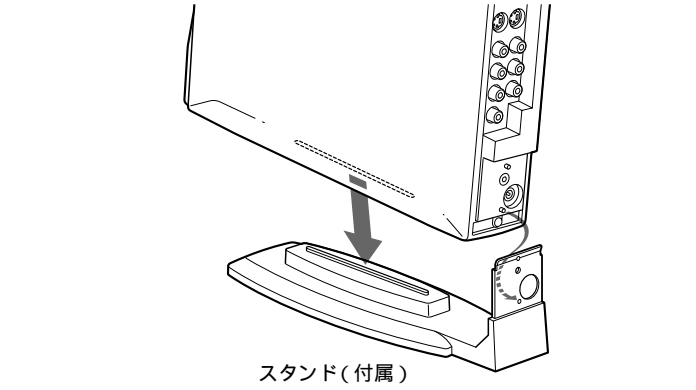
イラストのように、必ず⊕極側から電池を入れてください。

## 設置と接続

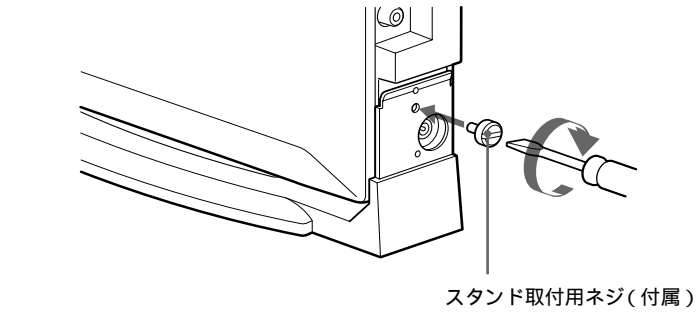
### スタンドを取り付ける

DVDプレーヤーを縦に置きたいときは付属のスタンドを取り付けます。横にして置くときは取り付ける必要はありません。

- 1 本機側面の溝とスタンドの突起部を合わせて、DVDプレーヤーをスタンドに載せます。



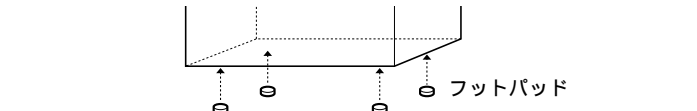
- 2 付属のスタンド取付用ネジで、スタンドを固定する。



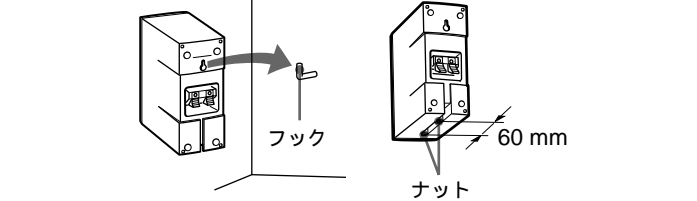
- ご注意
- 横置きにするときは、スタンドを取り外してください。
  - 本機を移動するときは、プレーヤー本体を持ってください。スタンドを持つと、スタンドが破損することがあります。
  - スタンドを取り付けずに、プレーヤー本体を縦に置かないでください。プレーヤー本体が安定しないため、倒れることがあります。

### スピーカーを設置する

付属のフットパッドをサブウーファーとサテライトスピーカー (L,R) の底面に取り付けます。



市販のフックやナットを使って、サテライトスピーカーを壁に取り付けることもできます。



- ご注意
- サテライトスピーカー (L,R) を壁などに取り付ける場合は、取り付けるのに適した壁を選び、器具は適切なものをお使いください。
  - 音場効果を生かすため、サテライトスピーカー (L,R) はテレビやモニターを中心に左右両側に置いてください。

### 接続する

裏面の接続図を見ながら接続してください。

### 使う前に必要な設定をする

お使いになる前に、必要に応じて以下の項目の設定をしておきます。設定をしないとテレビに画像が映らない場合があります。

#### テレビについての設定

ワイドモードがない通常のテレビ (4 : 3画面) をお使いのときは、ワイド画像をどのように表示するかをDVDプレーヤーであらかじめ設定しておく必要があります。ワイドテレビ、またはワイドモードのある通常のテレビをお使いのときは、この操作は必要ありません。

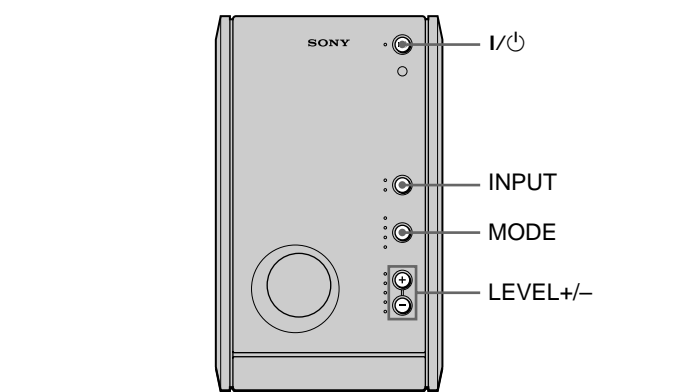
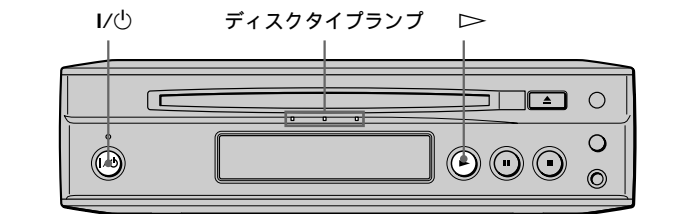
リモコンを使って、DVDプレーヤーの設定画面で設定を行います。詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書「画像に関する設定 (画面設定)」(48ページ) をご覧ください。

#### スピーカーについての設定

本機に合わせてスピーカーの設定を変更します。リモコンを使ってDVDプレーヤーの設定画面で設定を行います。リモコンの設定ボタンを押して「スピーカー設定」を選んで、「フロントスピーカーサイズ」を「テレビ」にします。これはお買い上げ時の設定です。詳しくはDVDプレーヤーの取扱説明書「スピーカーの設定をする」(53ページ) をご覧ください。

## 再生する

接続と設定が終わったら再生できます。



- 各機器の準備をする。  
テレビの準備  
テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでDVDプレーヤーからの画像が映るようにします。  
DVDプレーヤーの準備  
本体のI/O (電源) スイッチを押して電源を入れておきます。
- サブウーファーのI/O (電源) スイッチを押す。  
サブウーファーの電源が入ります。スイッチ横のランプが赤 (スタンバイ状態) から緑に変わります。
- サブウーファーのINPUTボタンをくり返し押して、ボタン横のDVDランプを点灯させる。
- MODEボタンを押してボタン横のMASTER VOLランプを緑色に点灯させてから、LEVEL-ボタンを押してボリュームを最小にする。
- 再生したい面をディスクタイプランプ側にしてディスクを入れ▷を押す。  
入れたディスクの種類を示すディスクタイプランプが点灯し、再生が始まります。サブウーファーのLEVEL+/-ボタンで音量を調節します。またリモコンのTV/DVDスイッチをDVD側にしておけば、リモコンの音量ボタンで音量を調節することもできます。

手順5のあとにメニュー画面が表示されたときは▶▶  
◀/▶/◀/▶ボタンを使って再生するタイトルやメニューを選び、決定ボタンを押します。

## 再生する

#### 止めるときは

本体またはリモコンの■を押す。

- ⚡ 全体の音量、サブウーファーの音量を選んで調節できます。  
MODEボタンをくり返し押して調節したい音量 (MASTER VOL (全体) / SW VOL (サブウーファー)) のランプを点灯させ、LEVEL+または-ボタンを押して調節します。

- ⚡ 音域を選んでボリューム調節できます。  
MODEボタンをくり返し押して調節したい音域 (BASS (低域) / TREBLE (中高域)) のランプを点灯させ、LEVEL+または-ボタンを押して好みの音になるように調節します。

- ⚡ 再生する音源に適した低音の出力にサブウーファーのモードを切り換えられます。  
サブウーファーのLEVEL+と-ボタンを同時に押すとMOVIE↔MUSICのようにモードが切り換わります。MODEボタン横のSW VOLランプの色で現在のモードがわかります。  
モード      ランプの色      適した音源  
MOVIE      緑              主に映画  
MUSIC      赤              主に音楽  
お買い上げ時はMOVIEになっています。

- ⚡ AUX IN端子につないだ機器 (ビデオなど) を再生するときは手順3でINPUTボタン横のAUXランプを点灯させます。

- ⚡ サブウーファーの電源は音声信号の入力に応じて自動的に切り換わります (オートパワー機能)。  
無音状態が3分続くとサブウーファーは自動的にスタンバイ状態になり、I/O (電源) スイッチ横のランプが赤に変わります。再び音声信号が入力されると自動的に電源が入り、ランプが緑に変わります。

ご注意  
無音状態が3分続かないとオートパワー機能は働きません。すぐに電源を入/切したいときはI/O (電源) スイッチを押してください。

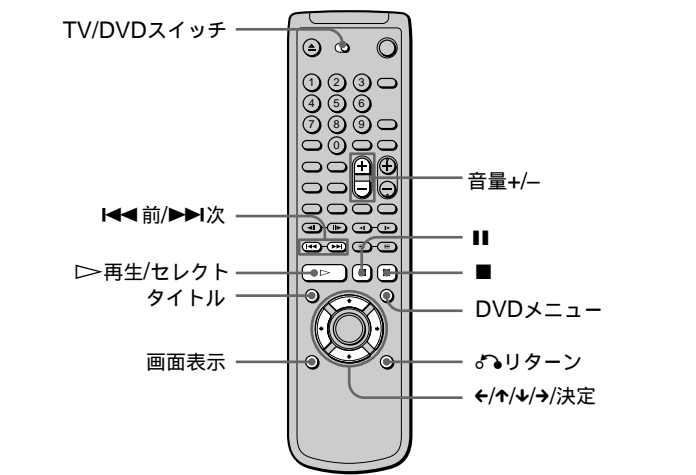
- ⚡ ボリュームの設定をお買い上げ時の状態に戻すにはサブウーファーのLEVEL+と-ボタンを同時に押したまま、I/O (電源) スイッチを押します。

ご注意  
本システムでDTS\*の再生はできません。DVDプレーヤーのアナログ出力をサブウーファーにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround™の再生をお楽しみいただくには、DVDプレーヤーのデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround™デコーダーを接続する必要があります。

\* Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS Digital SurroundはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

#### リモコンの使いかた

リモコンを使って、以下のようなDVDの操作ができます。詳しくはDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。



リモコンのボタン	機能
TV/DVDスイッチ	リモコンの電源ボタンや音量+/-ボタンで、DVDプレーヤーを操作するのか、テレビを操作するのかを選択する。
◀◀前/▶▶次	前の場面や曲に戻したり、次の場面や曲に進めたりする。
▷再生/セレクト	再生する。
タイトル	タイトルメニューを出す。
◀/▶/◀/▶決定	画面に表示されている項目を選ぶ。
画面表示	コントロールメニュー画面を出す。
■	再生を止める。
	再生を一時停止する。
DVDメニュー	DVDメニューを出す。
♫リターン	ひとつ前の選択画面に戻る。
音量+/-	音量調節をする。

TV/DVDスイッチがDVD側：スピーカーシステムの調整

TV/DVDスイッチがTV側：テレビの調整

#### デジタルシネマサウンドについて

リモコンの画面表示ボタンを押して▶ VES ▶ を選ぶと、サラウンドの機能が選べます。

- ⚡ パーチャルエンハンスト (VES) 機能がいろいろなサウンドが楽しめます。  
本機はパーチャルエンハンストサラウンド (VES) をお楽しみいただくのに適した2+1chサラウンドのシステムで、お買い上げ時の設定もVESになっています。
- リアスピーカーをつないでいないときでも、ドルビー・デジタルサラウンドを、3D立体音像処理により、仮想リアスピーカーで楽しめます。
  - ディスクや好みに合わせて、サラウンドの種類を選べます。ただし、CDなどソフトによっては、サラウンド効果が得られないことがあります。

詳しくは、取扱説明書の「デジタルシネマサウンドの設定をする」(37ページ) をご覧ください。  
\* ドルビーラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「Dolby」, 「Pro Logic」, 「AC-3」及びダブルD記号DDはドルビーラトリーズの商標です。  
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラトリーズ。不許複製。

- ⚡ コントロールメニューを使うと、他にもさまざまな操作ができます。▶▶  
リモコンの画面表示ボタンを押して、コントロールメニューを選びます。詳しくはDVDプレーヤーの取扱説明書および付属の「コントロールメニュー画面操作早わかり」をご覧ください。

### 故障かなと思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

- スピーカーから音が出ない。  
→ 正しく接続されていない。  
→ ボリュームが最小になっている。  
→ サブウーファーの入力切換で、お聞きになるソースが選ばれていない。

- サブウーファーから音が出ない。  
→ サブウーファーをDVP-F11に接続しているときには、DVDプレーヤーのサブウーファー設定を「あり」にしてください。

- スピーカーから雑音が聞こえる。  
→ 正しく接続されていない。

- 突然音が聞こえなくなる。  
→ 正しく接続されていない。  
→ むき出しになったスピーカーコードがショートしている。

## その他

### 主な仕様

SS-MS11 (サテライトスピーカー)	
形式	フルレンジ、防磁型スピーカー (EIAJ*)
使用スピーカー	5 × 9 cm、コーン型
エンクロージャー方式	バスレフ式
定格インピーダンス	6
最大入力 (EIAJ*)	100 W
出力音圧レベル	86 dB (1W, 1m)
実効周波数帯域	90~20,000 Hz
最大外形寸法 (幅/高さ/奥行き)	約68 × 151 × 135 mm
質量	約790 g/1個

SA-WMS11 (サブウーファー)	
システム	
形式	アクティブサブウーファー (防磁型) (EIAJ*)
使用スピーカー	13 cm、コーン型ウーファー、デュアルボイスコイル
エンクロージャー方式	SAWタイプ
再生周波数帯域	40 Hz~200 Hz

出力	
サテライトスピーカー	20 W × 2
サブウーファー	20 W + 20 W

入力端子	
DVD IN (ピンジャック型)	
AUX IN (ピンジャック型)	

出力端子	
SPEAKER OUT (スピーカー端子)	

その他	
電源	100 V、50/60 Hz
消費電力	35 W
最大外形寸法 (幅/高さ/奥行き)	約145 × 237 × 373 mm
質量	約6.3 kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

\* EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。